

令和 6 年度 四国森林管理局保護林管理委員会  
議事概要

1. 開催日時：令和 7 年 2 月 12 日（水） 13：30～16：00

2. 開催場所：四国森林管理局 大会議室（2 階）

3. 議 題

- （1）令和 6 年度 保護林モニタリング調査結果報告について
- （2）令和 6 年度 四国山地緑の回廊モニタリング調査結果報告について
- （3）令和 7 年度 保護林及び緑の回廊モニタリング調査（案）について
- （4）令和 7 年度 保護林及び緑の回廊における事業の予定について
- （5）その他

4. 委員からの主な意見

（1）令和 6 年度 保護林モニタリング調査結果報告

- ニホンジカの個体数の増減について、センサーカメラによる撮影枚数の増減では判断できない。撮影内容を精査して性別や親子かどうかなどでの検証が必要。
- 比較的若齢な個体から老齢な個体まで連続的に分布していることをもって、一律に森林の状態が安定していると言えない。日照時間や樹種、攪乱がいつ起こったかも合わせての判断が必要。
- 大道マツの保全について、近年で急激に本数が減少したのであれば、早急に対策が必要。また、アカマツの更新に当たって、判断は難しいが尾根筋を割と大きく伐開しないと十分な数の実生の発生は得られない。
- 佐田山のナラ枯れ発生について、高知県内では同一箇所でも複数回の被害が見られることもあるようだ。また、周辺の被害調査や文献調査も行い発生源の特定と防除等の実施をお願いする。

（2）令和 6 年度 四国山地緑の回廊モニタリング調査結果報告

- ニホンカモシカはこれまで四国の比較的西側の地域で確認されていなかった。今回のモニタリングで新たな情報が得られたということになる。
- 笹ヶ峰地域において過去に攪乱があったとのことだが、自然攪乱か人為攪乱か。どのような攪乱があったのかは現状を理解する上で重要。
- モニタリング調査結果は外部の研究者への発信もお願いする。データの利活用を進めることで、この事業の価値を高めることになる。

（5）その他

- 緑の回廊内へ再生可能エネルギー施設の設置に関する情報があれば保護林管理委員会へ速やかに情報共有をお願いする。また、バードストライク等、稼働後の運用にも注視する必要。